

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。

# つ の ぶ え

TSUNOBUE



社会福祉法人  
**小羊学園**

住所 〒433-8105  
静岡県浜松市中央区三方原町2709-12

電話 053-584-3337 FAX 053-585-8488

E-mail sasaeru@kohitsuji.or.jp

H.P http://www.kohitsuji.or.jp/

発行人 稲松 義人

印刷所 アド・アール株式会社



2025年3月1日

第456号

## 今号のMENU

1 P...

理事長巻頭言

2 P-3 P...

【特集】

キリスト教社会福祉  
を意識した支援とは

4 P-5 P...

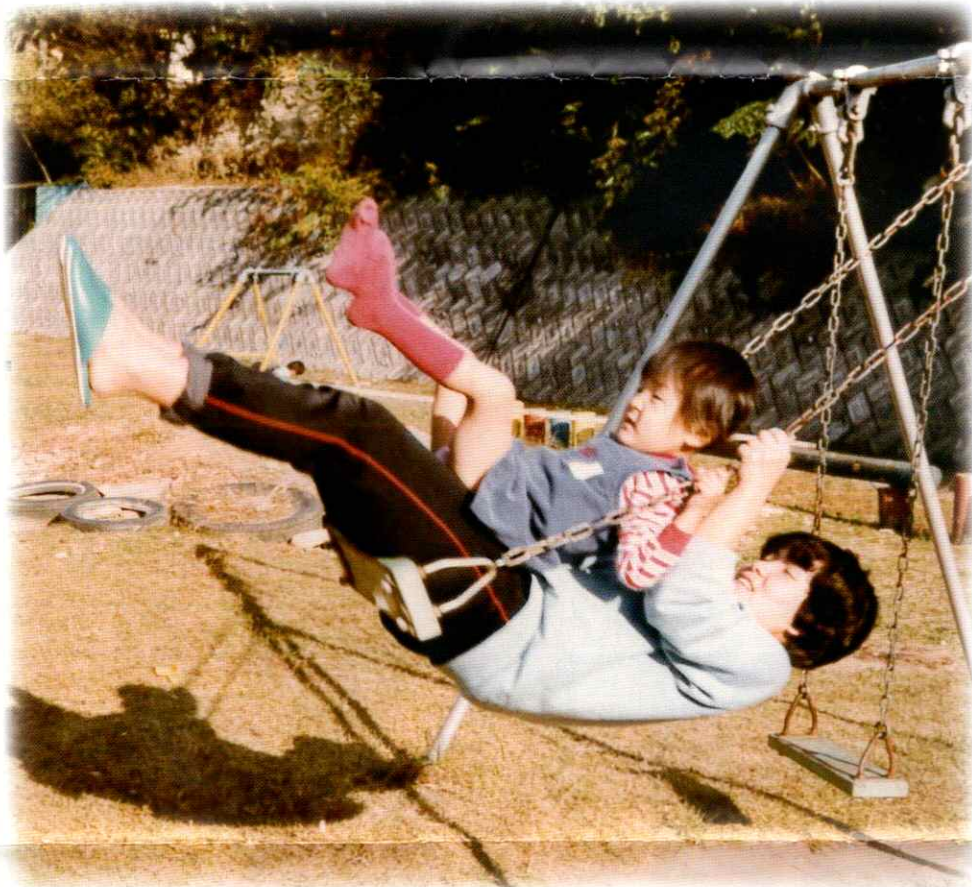
年末年始のトピックス  
障がいのある人にやさしい外出スポット

6 P...

寄贈報告

リレートーク

支える会報告 他



昭和 58 年頃の懐かしい写真

当時も今も「小さな者を真ん中に」の願いは変わりません

毎日のことに追われていると、自分たちがそもそも何を目指しているのかを忘れてしまいがちです。東へ向かって真っ直ぐに歩いていたらはずなのに、足元をしつかり見て危険を回避し、よいと思う道を懸命に歩いていくうちに、いつのまにか少しづつ方向がずれ、気がついたら目指していた目的地と全く違うところを歩いていたことはありませんか。

キリスト教は、私たち人間が決して理解することのできない神さまの心を、イエス・キリストがその生涯を通して示してくださったと信じた人たちによって世界中に伝えられました。小羊学園の基本理念も、その教えから示されています。どんな小さな存在であっても、社会から排除されることなく、命のつながりの中で生きてほしい。その目標の実現のために日々試行錯誤を繰り返します。

分かり合うための言葉のコミュニケーションも含め、違った文化的背景をもち、生きてきた時代の違い、また社会的な立場の違いによって、理解し合うことの難しさがあります。しかし、最も小さな者たちを真ん中にして、ともに寄り添うとき、おのずと平和の道を歩くことができます。のではないのでしょうか。

稲松 義人



# 「キリスト教社会福祉を 意識した支援とは」

理事長 稲松義人

社会福祉法人小羊学園が複数の施設・事業を展開している浜松地区では、施設ごとではなく地区全体を視野に入れた事業展開について話し合いをもってきた。そのなかで具体的な取り組みの一つとして「基本理念の継承」が挙げられた。

創立者山浦理事長の思いを受け継ぐため、法人として掲げた基本理念は、小羊学園という名称の典故とされている聖書の一節、「あなたがたはどう思うか。ある人が羊を百匹持っていて、その一匹が迷い出たとすれば、九十九匹を山に残しておいて、迷い出た一匹を捜しに行かないだろうか。はつきり言うておくが、もし、それを見つけたら、迷わずにいた九十九匹より、その一匹のことを喜ぶだろう。そのように、これらの小さい者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない（マタイによる福音書18章12〜14）」である。私も理事長として、基本理念としてこの聖書箇所を紹介し、最初にある「あなたがたはどう思うか」と

いう問いかけを、職員一人ひとり小羊学園での働きの中で受け止めてほしいと伝えてきた。逆にいうと、クリスチャンではない職員たちに配慮し、この基本理念以外にキリスト教や聖書について話すことはできない限り抑えてきたつもりでいる。

今回、つぶえの編集担当者から「キリスト教社会福祉を意識した支援とは」というテーマで原稿依頼があった。中長期計画による取り組みを考えてのことと思うが、実際には小羊学園の働きを支えてくれている人たち、特に、あまりキリスト教に馴染みのない人たちに對して、「キリスト教社会福祉」について伝えることの難しさを感じている。

それでも、私自身キリスト者の一人として社会福祉のことを考えてきた経験から、法人の外では、「キリスト教社会福祉」について、何回か自分なりの考えを発表する機会が与えられた。例えば、小羊学園も加盟している日本キリスト教社会事業同盟が発刊していた「ホーリスティック

社会福祉研究」に、キリスト教社会福祉について執筆依頼を受け、「『現場』へのこだわり―実践の場から見たキリスト教社会事業継承論―」という拙文を掲載していただいた。約20年前のことである。そこで、当時、キリスト教社会福祉について私なりの2つの論点を示した。一つは、キリスト教の立場から社会福祉をどう捉えるかということ、もう一つは、社会福祉の実践においてキリスト教がどのような意味をもっているかということであった。キリスト教の立場から社会福祉をどう捉えるかという点については、キリスト者あるいはキリスト教会が社会福祉にどう取り組むかということになる。これはおそらく、キリスト者あるいは教会内での論じられるべきテーマだと考えている。

一方、社会福祉の実践をする中で、キリスト教がどのような意味をもつ



稲松理事長

ているのかということは、キリスト教信仰の有無にかかわらず、あるいは必ずしも教会に所属していなくても論じることができるのではないかと考えた。小羊学園のような、そこに従事する人たちの多くがキリスト者ではない組織においても、基本理念の中に示されるキリスト教が伝えようとしていることを考えてみることはできる。

「小さい者の一人」というフレーズは、同じマタイによる福音書25章にも、イエス・キリストの言葉として興味深い話が記されている。

「王は右側にいる人たちに言う。『さあ、わたしの父に祝福された人たち、天地創造の時からお前たちのために用意されていた国を受け継ぎなさい。お前たちは、わたしが飢えていた時に食べさせ、のどが渇いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。』すると、正しい人たちが王に答える。『主よ、いつわたしたちは、飢えておられるのを見て食べ物差し上げ、のどが渇いておられるのを見て飲み物を差し上げたでしょうか。いつ、旅をしておられるのを見てお宿を貸し、裸でおられるのを



見てお着せしたでしょうか。いつ、病気をなさったり、牢におられたりするのを見て、お訪ねしたでしょうか。』そこで、王は答える。『はつきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』

この後、逆に、左側にいた人たちは、困難を抱えている人たちを支援しようとしなかったことから裁きを受けることになったことが記されている。

イエス・キリストは、選ばれた民であるユダヤ人と異邦人に分けるのではなく、小さい者の一人に寄り添った人と、そうしなかった人によって、天国に迎えられる人とそうでない人に分けられるというのである。

要するに、社会的に弱い立場にいる人たちに親切にした人たちは、それが王(神)だとは思ってもせずにそうしたのである。聖書を知らなくても、神の思いを知らなくても、支援の難しい人たちに精一杯寄り添ってくれる職員について、何かキリスト教の立場から指摘すべきことがあるだろうか。「キリスト教社会福祉」を意識していなくても問題ないのではないだろうか。

小羊学園が今も抱える課題として、いわゆる「強度行動障がい」とされ

る人たちへの支援がある。不適応の行動が激しく、周囲で受け止めにくく、なかなかご本人に安心できる居場所を整えてあげられない人たちである。職員たちは、ときには彼らの粗暴な行動の標的になったり、繰り返し起こる器物破損に対応したりしながら、何とか彼らを受け止めたいと苦悩している。そして、職員たちの中から、「強度行動障がいの人たちへの支援プロジェクト」を始めようという提案があがってくる。法人として指示を出したわけでも、キリスト教社会福祉を意識したわけでもない。しかし、このような取り組みにチャレンジしようとする職員たちは、本人たちが意識しなくても、聖書に示されている『基本理念』に沿った取り組みを継承してくれていることの現われではないかと思っている。



昭和50年代頃？園庭で行われた教会学校

## キリスト教社会福祉の実践

常務理事 雨宮 寛

小羊学園が創設され60年になろうとしています。子どもの入所施設から始まった小羊学園も、就学前の幼児が通う通園施設から成人の入所施設、医療型障害児入所施設・療養介護や相談支援事業所含め17の事業所で通所・入所併せ約350人の方たちの支援が行われるようになりました。

そうした小羊学園にあつて変わらざ大切にされ取り組まれてきたことは「これらの小さい者がひとりでも減びることは、あなたがたの天の父の御心ではない」、すなわち「社会の中で小さくされている人たち」への支援です。キリスト教精神に基づき小羊学園の理念として用いられてきた聖書の箇所であり、この体現こそが小羊学園の歩みであると実感しています。

小羊学園における小さい者が減びないための取り組みは、今ほど施設や制度が整ってない時代にあつては、受け入れ先のなかった重い障がい者を有する人たちへの支援でした。

現在においては、加えて、複雑な社会背景の中で多様な課題を有し支援を必要としながらも社会から孤立しがちな人々への支援といえます。

小さい者が減びないとは、どんな小さい存在も排除しない、孤立させないということであり、今風に言えば究極のインクルーシブ社会のあり様ともいえます。小羊学園では、こうした小さい者と生活を共にし、一人ひとりのもつ困難さに向き合いながら日々の支援が行われてきました。まさに、そのことこそがキリスト教福祉の実践とはいえないでしょうか。



クリスマス 聖誕劇のワンシーン



# 放課後等デイサービス 2024→2025 年末年始のトピックス

## ドルチェ

コロナ以前の生活も徐々に戻り始め、ドルチェでも中止していた活動を再開し始めました。「お店屋さん」ではドルチェの一室がお菓子屋さんに変身しました。子どもたちが食べたい物を選んで、ドルチェ紙幣を使用して店員役のお友達から買い物をしました。

徐々に再開した昼食作りでは、カレーを作りました。子どもたちもスタッフも和気あいあいと楽しみながら作り、美味しく頂きました。



## わかな

冬休み！今年も寒い日が続きますが、とってもよい天気。わかなでは楽しく外あそびを満喫している毎日です。みんなで丘に駆け上ったり、ネット遊具で跳びはねたり、東屋で一息ついたり、五感で自然を感じながら過ごしています。

年度末に近づき、出会いと別れの季節がすぐそこに迫ってきました。わかなのみんなで過ごせる時間もあと少し！今ある時間一つひとつを大切に、思い出を作っていきたいと思います。

そんな思い出作りにおすすめのお出掛け場所があれば、教えていただくと嬉しいです。一緒にお出掛けできる機会があれば、ぜひお声掛けくださいね。



こうえんあそび



## ぱるしあ

12月25日、「あろ」さんと合同クリスマス会を行いました♪始めはお互いに緊張していましたが、サンタとトナカイが登場すると「サンタさんだ〜！」と歓声があがり子どもたちは大喜び☆プレゼントとお菓子をもらいました！ゲームやダンスを楽しんだあとはケーキ作りをしました🍓クリームやイチゴ、フルーツを盛り付けてカラフルで可愛いケーキが完成！「あろ」のお友達にも楽しんでもらえてうれしかったです😊



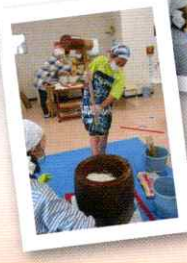
### クリスマス会



## ぱびるす

12月26日、毎年恒例になっている幼児さんとの餅つきを行いました。ホールにいるみんなからの大きな「どっこいしょ〜」の掛け声に合わせて杵を持ち上げました♪

今年は、自分でチョコレートを餅の中に入れて丸め、チョコもちも食べました。定番のあんこやきなこも、とっともおいしかったです(\*´ω`\*)



## 小羊学園のお勧め!

### 障がいのある人にやさしい外出スポット Vol.16



## 飯田公園・みどり〜な

今回のご紹介は、浜松市中央区にある飯田公園です！



園内には、木漏れ日が降り注ぐ緑のトンネルや、四季折々の花々が咲き誇る花園など、散策に最適なスポットが数多くあります。春には桜やチューリップ、夏にはアジサイやひまわり、秋には紅葉、どんぐり拾いなど訪れる時期によって様々な表情が楽しめます。

木陰にベンチやテーブルがあるので、日差しを避けながら休憩したり、お弁当を食べたりすることができます♪



#### 【概要紹介】

[住所] 静岡県浜松市中央区大塚町1876-1

[公園管理事務所電話] 053-473-1829

[駐車場] 有 [バリアフリースイレ] 有






**KOHITSUJI STAFF**

# リレートーク

Vol.36

なかむら けいすけ  
**中村 圭佑さん**  
2013年入職  
スクエア児童部



**Q小羊学園を志した動機は？**  
母親が障がい者支援施設で働いており、話を聞くうちに、この業界に興味を持ちました。

**Qこの仕事の嬉しいことは？**  
スクエアを退所した利用者さんが、元気に生活を送っていることを見聞きしたとき、その方の幼き姿や大変だった頃が思い出され、やりがいを感じます。あと、過去の利用者さんと呑みに行けた時ですかね。

**Qちょっとプライベートを教えてください！**  
飼い犬の柴(5歳)中心の生活をしています。ウォーキングにもハマってます。

**Q誰にリレーしましょうか？ また一言メッセージを！**  
わかぎの神村千紘さんへ。  
また行きましょう👍

## 感謝の気持ち

浜松ロータリークラブ様が会員から集めたタオルや布製品を今年もご寄贈くださり、法人を代表して理事長が授与いたしました。毎年、年の瀬に小羊学園にお届けくださっている浜松ロータリークラブの皆様がこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。



Thank you!

Rotary  
**浜松ロータリークラブ様**  
タオルご寄贈  
ありがとうございました Thank you!

## さをり織り ワーク ショップ

2025年  
日時 **3月23日** 日  
10:00-15:00

会場 **支援センターわかぎ  
こすもすホール**

体験は無料です  
糸代20円/玉で  
お持ち帰りOK!

お問い合わせ  
**053-587-2614**  
担当：中岡・神村

参加お待ちしております♪


## ほのぼのコンサート ご案内

障がいのある人もない人も楽しめる「ほのぼのコンサート」が5年ぶりに開催。入場無料・どなたでも参加OK。浜松交響吹奏楽団様の本格的な演奏を楽しみませんか？

日時 **3月23日(日) 14時**

会場 **みをつくし文化センター**

入場無料  
申込不要



**あ と が き**

昭和で数えると今年は100年目だそう。昭和生まれの私には衝撃的事実である。

豊かな人生とは・・・？ 人生も折り返し地点にきて、ふとそのようなことを考えることも多くなった。新しい体験は減り、当たり前前の日常が流れる。しかし、そんな当たり前こそ実は尊く、幸せとも感じる。若い頃はこうなりたいたい！という目標を掲げ突っ走ってきたものだ。そんな人生も愛おしいが、これからは変わらぬように感じる日常の中に、小さな発見や体験を重ねて生きてみたい。

(Y)

## 小羊学園を支える会

### 2024年度 寄付金報告

12月~1月分	1,556,000円 (119件)
累計	5,091,079円 (272件)

多くのお支えに感謝申し上げます

### 小羊学園への寄付金振込み先

郵便振替口座 **00800-8-107785**  
口座名義 **社会福祉法人小羊学園**

ゆうちょ銀行 **〇八九店 当座預金0107785**  
口座名義 **社会福祉法人小羊学園**

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。下記へご連絡ください。

小羊学園を支える会事務局 (鈴木)  
小羊学園法人本部 ☎ 053-584-3337